



謹賀新年

うたごえは平和の力  
今年も心を込めて  
熱いうたごえを届けます！  
男声合唱団「昴」

年頭にあたって

昴の去年の初めは、創立10周年記念公演を全団員が持てる力を出し切って見事に成功させることができました。そのための団員の前向きな姿勢・並々ならぬ努力に、私は改めてここに敬意を表します。

私は昨年7月の総会にあたって、昴がこの10年間さまざまな困難を克服して、多くの支援者のみなさんに支えられて今の発展が得られたこと、同時に量・質の向上にともなって求められる課題も多様化し、ますます集団運営、団員ひとり一人が昴の柱となって支えあい、団結して運営に積極的に関わっていくことの大切さを提唱しました。

私たちをとりまく政情は、隣国との領土問題や、核開発・戦争挑発行為など、お互いに好ましくない動向を背景に、日米安保体制による「抑止力」が最重要だとして、憲法改悪の動きが一段と強まっています。今、私たちはそうではなくて「真の抑止力」は憲法第9条の堅持と実効、アピール、国際協調の精神の称揚、お互いの国の国民同士の協調と信頼をはぐくむ政策にあるとの信念のもとに「平和」こそ、どの政権にあっても一番の政策課題であると、粘り強く訴えていくと同時に、友好的な民間外交も積極的に行っていかなばなりません。

今、ゆき詰まった日本の政治の中で、失業・貧困・格差とたたかう人々と連帯する「うたごえ」は、ますます求められています。今年も「戦争も核兵器もない平和な世界を」の信条を堅持し、昨年成果と反省の上にあたって「平和で健康なうたごえ」をさらに地域に広げることと、未到達の団員50名にすること、歌唱力をつけることに努め、初めての試みの「団内コンサート」、昴のカラーを出した「5月のコンサート」（仮称）に取り組み、みんなの創意と英知を集めて、昴ならではの活動を通じて、今年も自信と明るい展望をもって団結して、進もうではありませんか。

2011年 元旦  
男声合唱団「昴」団長 藤後博巳